

ハイチ癒やしたい

ハイチ大地震の被災者支援のため、国際医療ボランティアAMDA

(岡山市北区伊福町)が18、19の両日、ハイチの子どもたちを隣国のドミニカ共和国に招いて開くスポーツ親善交流に、県内から新庄村立新庄中3年の新家夢袖さん(15)と妹の同1年百合絵さん(13)が参加する。2人は「交流を通じて、少しでも被災者の役に立ちたい」と張り切っている。交流は、心のケアと

AMDAスポーツ親善交流

新家さん姉妹(新庄中)参加

継続的な復興支援が目指して見たい」と希

望した。2人のほか、福山市、大阪府の中高生計16人がハイチ、ドミニカ共和国の子どもたちとサッカー大会や文化交流で親睦を深めた」と夢袖さん。2人はサッカー経験がほとんどないが、父親と練習して本番に備える。文化交流に向けては「自然豊かな新庄の四季を紹介したい」と発表の資料作りに励んでいる。地元のがいせん桜」にちなんだ押し花のしおりも用意

的。2人のほか、福山市、大阪府の中高生計16人がハイチ、ドミニカ共和国の子どもたちとサッカー大会や文化交流で親睦を深めた」と夢袖さん。2人はサッカー経験がほとんどないが、父親と練習して本番に備える。文化交流に向けては「自然豊かな新庄の四季を紹介したい」と発表の資料作りに励んでいる。地元のがいせん桜」にちなんだ押し花のしおりも用意

18、19日 子どもらとサッカー



スポーツ親善交流へ抱負を語る夢袖さん(左)と百合絵さん

し、現地の子どもたちにプレゼントすること。交流事業のほか、国連本部の視察などを行行い、25日に帰国する表(63)ら一行25人は16予定。(伊丹友香)